



50周年スローガン

下和泉小だより 10月号

令和5年9月29日

未来へ向かって 絆をつなごう ～笑顔満開 下和泉～



横浜市立下和泉小学校

校長 船木 淳

「うちの子、小学校のことも先生のことも大好きなんです」

過日、本校体育館にて下和泉地区地域防災拠点訓練が行われました。これは、下和泉小学校がこの地域の防災拠点に指定されているため、有事の際に円滑に拠点を運営することができるよう年2回の訓練を実施しているものです。この日の訓練は、各自治会から選出された担当者の方による拠点開設のための訓練でした。

横浜市の規定では、市内のどこかで「震度5強」以上の地震（気象庁発表）が発生したときに、全ての地域防災拠点を開設することとなっています。この日集まった班員のみなさんは、避難所開設や運営についての講義を受け、防災備蓄庫を確認するなど精力的に活動されていました。いつも子どもたちがお世話になっている下和泉という地域の安定した力を、改めて感じました。

訓練が終わり片付けをしていたところで、一人の男性に話しかけられました。「〇〇の父です。息子がお世話になりました」とお話しになったその方は卒業生のお父さんで、今楽しく中学校に行っていること、目標に向かって頑張っていて毎日が充実していることなどを教えていただきました。目の前にいる下小の子どもたちが頑張っているのは当然うれしいことですが、卒業生の充実した生き方を聞くと、それと同じように感慨深いものがあります。その子は今年の運動会が終わった後に何人かの友達と校庭に残り、最後まで片付けを手伝ってくれた子です。その時にお聞きした「うちの子、小学校のことも先生のことも大好きなんです」という言葉に、心が軽くなりました。何より、このような子が育っているということが、下和泉の財産です。

早いものでもうすぐ前期が終わります。この半年間、地域の力を実感する場面にいくつも出会いました。

まずは、下和泉連合町内会主催による「サマーフェスティバル&盆踊り in 下和泉」です。この夏は、各地で様々な行事が復活する中盛大に開催され、4年ぶりの実施ということもあってか当日は大変な賑わいで、校庭は活気ある歓声と盆踊りの音楽に包まれていました。たくさん子どもたちが浴衣を着ていつもよりちょっとだけおめかしして、はにかみながら踊っている姿を見ると、思わず笑みがこぼれます。

開催にあたり尽力されてきた連合町内会の皆様、そしておいしいうどんを提供して下さったPTAの皆様、楽しいひと時をありがとうございました。

また、9月19日には、地区センターにて「わくわく食堂下和泉」が始まりました。地域の方がずっと構想を練っておられたことが実現し、19日には大勢のお客さんで賑わっていました。今後も月1回、子どもたちには無料で（大人は300円）カレーライスが提供される予定です。

さらに、下和泉4丁目にある「かけカフェ」では、放課後の学習支援事業も始まっています。子どもたちがボランティアの方の支援を受け、宿題や各自の課題に取り組み、がんばった証として嬉しそうに駄菓子を買っていました。豊かな交流の場が創出され、笑顔が広がる拠点となっています。

記録的な暑さが続いた2023年も、秋分の日を過ぎ、穏やかな季節を迎えつつあります。6年生は卒業アルバム用の写真を撮り、旅立ちの準備を始めています。

温かい地域に支えられて50年目の下和泉小学校が存在していることを再認識した半年間でした。「うちの子、小学校のことも先生のことも大好きなんです」と言われることが増えるよう、ベクトルを自分たちに向け、一人一人に向き合っていきたいと思えます。